

## 第14回ゲノム医療実現推進協議会 議事概要

■日 時：令和元年6月28日（金）15時00分～16時30分

■場 所：中央合同庁舎第4号館12階 共用1208特別会議室

■出席者：

議 長：内閣官房 大坪 健康・医療戦略室次長〔代理〕

構成員：文部科学省 増子 大臣官房審議官（研究振興局担当）〔代理〕

厚生労働省 吉田 医政局長

宇都宮 健康局長

佐原 大臣官房審議官（危機管理、科学技術・イノベーション、  
国際調整、がん対策担当）

経済産業省 上村 商務・サービスグループ 生物化学産業課長〔代理〕

我妻 一般財団法人 バイオインダストリー協会 運営会議委員

磯 日本公衆衛生学会理事長

加藤 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

メディカルゲノムセンター センター長

清原 公益社団法人久山生活習慣病研究所 代表理事

近藤 独立行政法人 医薬品医療研究開発機構 名誉理事長

塩田 滋賀医科大学 学長

末松 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長

高木 富山国際大学 教授

辻 国際医療福祉大学ゲノム医学研究所長

松原 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究所長

武藤 東京大学医科学研究所公共政策研究分野 教授

山本 東北大学東北メディカル・メガバンク機構 機構長

オブザーバー：森下 健康医療戦略参与

### ■議事

- 1) 第13回協議会でいただいたご指摘への対応方針
- 2) 中間とりまとめに対する最終報告書（案）について
- 3) その他

### ■概要

冒頭、議長代理から挨拶の後、「第13回協議会でいただいたご指摘への対応方針」、  
「中間報告とりまとめに対する最終報告書（案）」について説明があり、続いて、末松  
構成員から「ダイナミックコンセントについて」説明があった。各省からの補足説明の

後、意見交換が行われた。最後に事務局からの「今後、重点的に議論すべき事項について（案）」の説明と厚生労働省からの補足説明があり、意見交換が行われた。

主な意見は以下の通り。

## 構成員からの意見

### **1. 医療実装に資する課題**

- ・欧米では、DTC を家族性乳がん等の保因者診断、発症前診断に用いているが、日本において、DTC のような医療者の関与が比較的薄い中で実施することが今後ありうるのか、今後の課題である。
- ・がんゲノム情報の創薬研究等への利活用は国際競争という点でも大事なので、C-CAT については、なるべく早く二次利用を開始していただきたい。
- ・多くの難治性疾患で遺伝学的検査が保険未収載のため、実質、診断のための検査が研究として実施されている状況にある。費用負担の方針を含め検討が必要ではないか。

### **2. 研究に資する課題への取組状況**

- ・多因子疾患の発症予防または二次予防につなげていくには、一般住民を対象としたゲノムコホート、及び患者を対象にしたゲノムコホートの両方が必要であり、早目の準備が必要ではないか。
- ・全ゲノム解析が本格的に始まりつつある中、クラウド等の利用を含め、ゲノム情報のコンピューティングとストレージをどのように構築するか、検討してはどうか。
- ・日本には、特定健診・特定保健指導、介護保険等、いろいろなデータベースがある。それらをつなぐことで、ライフステージが俯瞰する研究ができるようになるのではないか。

### **3. 社会的視点に関する課題への取組状況**

- ・データの蓄積を更に進めるためには、患者から都度、同意をとるのではなく、「基本利活用可能とし、使われたくない場合のみ申し出る」とした上で、電子的にオプトアウトできるような仕組みをつくるのがよいのではないか。
- ・ダイナミックコンセントについては、すぐには進められないだろう。患者会の活用等を含め、予備的な研究を試行するところから始めてはどうか。

- ・ゲノムに関する教育については、小、中、高校で行われるようになってきている。その中で、PPIについての教育も加えていくことがよいのではないか。

#### 4. 今後、重点的に議論すべき事項について（案）

- ・限られた予算の中で、どこに投資するのが研究としてのプレゼンスを示す上で重要か、また、世界的な流れの中で医療実装上不可欠な部分かを見据えて今後の戦略を立てていけるとよいのではないか。
- ・第1グループ、第2グループともゲノム医療の実現には、対照として、大きな健常人集団のデータが重要であり、大規模前向きゲノムコホートが大切であることを理解いただきたい。
- ・幾つかの疾患（例えば5つ）を選んで集中的にモデル事業として研究を進めることから始めてはどうか。
- ・ゲノム解析の拠点を1か所にまとめる計画を検討してはどうか。

以上